

2017年 賀 正



福岡県労福協
理事長 高島喜信

明けましておめでとうございます。旧年中は福岡県労福協に対します格別のご支援・ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

昨年は、一般社団法人として4年目を迎え、公益目的事業を着実に推進するためライフサポート事業を始めとした事業を展開してきました。また、生活困窮者自立支援制度がスタートした年でもありました。既に事業推進を始めてから、1年10ヵ月が経過しました。しかし、地域によってまだまだバラツキがあるものの様々な実践が積み重ねてきました。厚生労働省においては、施行3年後の見直しに向けた課題の検証作業も始まったところです。各地域においても自治体の取り組みについて情報収集していただき、次のステップアップに繋げていただきたいと思います。

今、経済的格差・貧困の拡大は日本のみならず、世界中で大きな問題になっています。一部の富裕層が富を独占し、中間層も二極化に分断され、更にその格差が広がっています。加えて、自分と違うものを排除し、多様性を否定するような動きも強まり、社会の分断と亀裂をもたらしつつあります。日本においても、政府は「一億総活躍社会」あるいは「女性が輝く社会」、こういったキャッチフレーズを標榜していますが、輝いて活躍できるのは一部の人であり、その足下では、若者から壮年、高齢者に至るまで、あらゆる世代、あらゆる層で格差・貧困が拡大しています。

中央労福協は、昨年から奨学金問題改善に向けた取り組みを始めました。アンケート調査で実態を検証し、署名活動で世論喚起をお越し 304 万筆を集約しました。そして現在、第3ステージとして「給付型奨学金制度の創設等を求めるアピール」に対する「賛同要請」と「当事者の声の募集」を展開しています。引き続きのご理解とご協力をお願いします。

福岡県労福協は、今年も様々な団体とネットワークを広げ、私たちが取り組んでいますライフサポート事業を中心に、働く人・地域の人たちの拠り所として機能を強化していく取り組みを展開していきます。

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」実現に向かって、確信をもって進んでいきます。共に頑張りましょう。



中央労福協
会長 神津里季生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、中央労福協の諸活動、とりわけ奨学金問題において多大なご協力をいただき、ありがとうございました。お蔭様で、約 304 万筆の署名が世論のうねりをつくり、政府は給付型奨学金制度の創設に向けて動き出しました。一歩前進ではありますが、想定されている対象者や金額はあまりにも小規模と言わざるを得ません。今後の予算や法案の審議で少しでもより良い内容に改善し、将来に向けて拡充していく道筋をつけていくことが必要です。そのため、アピールへの賛同を広げていく取り組みや当事者の声募集に、引き続きご協力をお願いします。

この機を逃さず、みんなの力を結集し、何としても成果を勝ち取りましょう。そして、若者の未来を支え持続可能な社会とするために、貸与から給付へ、有利子から無利子へと、本来の奨学金への流れを確かなものにし、既存の返済困難者の実情に応じた救済措置や制度への改善、学費を含めた教育費負担の軽減につなげていきましょう。

いま、格差と貧困の拡大が世界中で大きな問題となっています。一部の者が富を独占し、中間層も分断され二極化が進行しています。加えて、異質なものを排除し、多様性を否定するような動きも強まり、社会の分断と亀裂をもたらしつつあります。日本においても、あらゆる世代・層で格差・貧困が拡大し、孤立が広がっています。今こそ、「連帯・協同」に価値を置く協同組合や労働組合が手を携えて真価を発揮し、分断社会を変えていかななくてはなりません。

中央労福協は引き続き、格差・貧困の是正にむけた政策・制度の改善をはじめ、誰もが排除されない社会に向けた生活困窮者自立支援制度の定着・発展や、働く人・地域の人たちの拠り所としてのライフサポート活動の深化・機能強化、協同事業や労働者福祉運動の基盤強化に取り組んでまいります。

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向けて、ともに前進しましょう！



福岡県知事
小川 洋

新年あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の皆さまには、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会へ」のスローガンのもと、日ごろから労働者福祉の向上にご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

福岡県の経済は、緩やかな回復が続いています。特に、有効求人倍率が昭和 38 年の統計開始以来最高水準で推移するなど、雇用面での改善が進んでいます。

今年は、「県民幸福度日本一」の福岡県を目指し、新たな総合計画を策定します。この計画に沿って、福岡県をもっと元気にする施策はさらに伸ばしていき、いろいろな課題や問題を抱えている方々に寄り添う、温かみのある行政に力を入れていきます。

そのためにも、本県経済の回復を確固たるものにします。また、景気の回復と魅力ある雇用の場の創出について県内雇用の 8 割を担い、本県経済の発展と活力の原動力である中小企業に対し、その成長段階や事業環境に応じたきめ細かな支援を行ないます。

今後も、県民の皆さまが安定した生活ができるよう、貴協議会との連携・協力をなお一層深めていきたいと考えております。

今年は酉年です。皆さまがそれぞれ個性や能力を生かして、元気に「翔く」一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



福岡県生協連
会長理事 宮崎正義

新年あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の会員の皆さまには、日頃より福岡県生協連の諸活動のご理解とご支援を賜り感謝とお礼を申し上げます。

福岡県生協連は、昨年再建設立 40 周年を迎えることが出来ました。40 周年記念行事の際には、福岡県労働者福祉協議会理事長様他、多数のご出席いただきましたことに、本紙面をお借りしお礼申し上げます。この間、福岡県生協連加盟生協は合併・新規加入・解散大会含め、現在 19 単位生協及び 4 事業連合の計 23 会員生協となっています。

各会員生協では、組合員のくらしを守る多彩な取り組みが進められ、特に地域生協では基幹事業である宅配事業、店舗事業はもとより、介護福祉関連事業の展開、高齢者や買い物難民者への移動販売車・配食事業の導入、再生可能エネルギーの取り組み、環境保全の活動、行政との協定に基づく地域見守り活動など、組合員・地域に密着した活動が推進されています。併せて、熊本大分地震・東日本大震災被災者支援の取り組み、ポスト I Y C（国際協同組合理年）の取り組み、消費者被害防止と消費者行政の推進、食の安心・安全を求めている取り組み、大規模災害に備えた取り組み、核兵器の廃絶に向けた取り組み等重点的に進めてまいりました。

私たち生協は、組合員同士の互助・共助の力を基礎に、組合員に対する最大奉仕の原則を堅持しつつ地域社会の人たちとも協力しあって社会的責任をはたして行きます。

今年も旧倍のご厚誼を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



北九州総合労働会館
理事長 福島昭一

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、北九州総合労働会館(通称：真鶴会館)の事業運営に対しまして、事業団体、労働団体をはじめ、会員各位の皆さま方に、ご支援とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

おかげさまで昨年の会館利用者数は、近年を上回ることができました。前年に引き続き、インターネットによる会議室利用増加(謝恩会等、会議以外の様々な使い方を皆さまのお知恵より広めていただいた)や、カルチャー教室が倍増したことなどによるものです。皆さまからのお問合せや、様々な使い方等のお申し込みをお待ちしております。

昨年後半は、大衆演劇の「宝劇場」に入居いただき、今までとは違う活気もでてきています。ただ、5 階の全てを劇場に、4 階の半分を楽屋にと使っているため、今までご利用いただいていた皆さまにご不便をおかけしていることを心苦しく存じています。

また、真鶴会館は一般社団法人として社会貢献も求められており、経営的には厳しい状況は続いておりますが、入館いただいております事業団体・労働団体の皆さまをはじめ、勤労者・市民の皆さまが安心して快適にご利用いただけますよう役職員一丸となって、最大限の努力をしまいる所存でございます。

本年も引き続き、真鶴会館に対しますご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



九州労働金庫福岡県本部
本部長 梶原正実

新年あけましておめでとうございます。多くの皆さんに支えられていることに改めて感謝申し上げます。

日銀の「マイナス金利政策」のなか、今までにない金利情勢と地銀の再編などをにらんだ競争の激化が続く中、九州労働金庫は中期経営計画で掲げた「きつと、もっと、ずっと、お役に立てるろうきんへ」を推進していくための重点施策である「原点に返ったろうきん運動の推進」に基づいて、会員との連携を深めて、組合員のニーズに合わせた提案型営業の推進を強化し、組合員の生活向上・可処分所得の向上につながる取り組みを展開してきました。

本年も「会員・組合員のお役に立つろうきんへ」「すべての働く人のお役に立つろうきんへ」「地域社会のお役に立つろうきんへ」の3つの方針を中心に、会員と協働した「しあわせ創造運動」を積極的に展開し、福祉金融機関としての役割発揮に向けた社会貢献活動を展開していきます。

役職員一同、労働金庫としての姿勢や仕事を厳しく見つめ直し、新たな気持ちでチャレンジし続けたいと決意しているところです。

2017年が会員・組合員およびご家族の皆さん・すべての働く人にとって良い年になることをご祈念申し上げて年頭のご挨拶とします。

今年もどうぞよろしくお願い致します。



全労済福岡県本部
本部長 品川浩二

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、全労済の諸活動にしまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年4月に発生した熊本地震は、福岡県内にも大きな被害をもたらし、家屋の損壊など多くの傷跡を残しました。福岡県本部でも、1,000件を超える被災連絡を受け付け、1日でも早い共済金のお支払いに向けて、役職員一同総力を挙げて被災家屋の調査をすめてまいりました。被災された組合員の皆さまには、改めて心よりお見舞い申し上げます。

地震災害をはじめ自然災害が相次ぐ中、多くの国民が不安を抱きながら日々の暮らしを営んでいます。

こうした環境下においては、これまで以上に“自助・共助”の精神で、個々の「保障」を充実させる活動が重要となっています。日常生活のリスクに対して、経済的な補填を目的とした「保障」を見直し・充実させていくことが必要不可欠と考えます。

今後も、組合員・協力団体の皆さまとの「つながり」を大切に、常に皆さまから信頼・選択していただける全労済を目指して、福岡県本部役職員一丸となって努力を続けてまいりますので引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ZENROSAI NEWS

謹賀新年

本年も全労済を
宜しく願い申し上げます

全労済福岡県本部

(福岡県労働者共済生活協同組合)

本部長
品川 浩二

副本部長
石川 和正

副本部長
矢田 信浩

副本部長
佐田 正二

専務執行役員
岩木 克明



保障のことなら 〒810-8611

福岡市中央区舞鶴1-1-7

TEL 092-739-6100

http://www.zenrosai.coop

全労済労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

4016Z014

謹賀新年

本年も九州ろうきんを
宜しく願い申し上げます。

九州労働金庫福岡県本部

本部長

梶原 正実

役職員一同



けっし使えろ
ろうきん

つかえろろうきん みんなのろうきん 九州ろうきん

http://kyusyu.rokin.or.jp/

九州ろうきん

検索



連帯・協同で安心・共生の
福祉社会をつくるため
本年も頑張ります。



北九州地域労働者福祉協議会

会長 小原 朝 広
事務局 長 遠藤 禎 幸
職員 森 谷 尚 美



京築・田川地域労働者福祉協議会

会長 中野 敬 介
事務局 長 安藤 正 宣
職員 藤 野 勢 津 子



遠賀川地域労働者福祉協議会

会長 柴田 典 利
事務局 長 寒竹 準 一
職員 大 庭 菜 摘



福岡地域労働者福祉推進協議会

会長 石堂 高 大
事務局 長 桑原 忠 志
職員 桑 野 小 代 里



筑紫・朝倉地域労働者福祉協議会

会長 森田 誠 一
事務局 長 原 山 豊
職員 丸 山 よし子



北筑後地域労働者福祉協議会

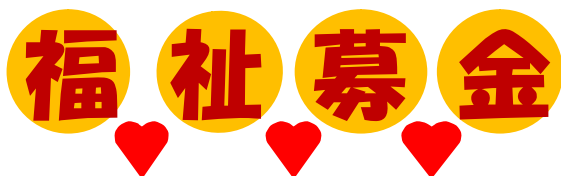
会長 鹿田 哲
事務局 長 西田 修 三
職員 良 永 礼 子



南筑後地域労働者福祉協議会

会長 坂田 修
事務局 長 本 田 賢 治
職員 浦 濱 明 美

本年も宜しくお願い申し上げます。



日頃のご支援に感謝申し上げます
本年も何卒ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

取組期間：2016年12月1日～2017年3月31日

【目的】 心身ともにハンディキャップを背負いながらも、自立と社会参加をめざす人達の福祉向上と、支援の輪を広げていくことを目的とします。

2015年度の実績では
8,025,848円 の浄財が
集まり、県内の施設へ
必需品を寄贈しました。

福岡県労働者福祉協議会役員		一般社団法人									
		理事長	副理事長	専務理事	理事	監事					
職員		高島 喜信	梶原 正実	品川 浩二	深町 裕二	田井 孝二	染井 和久	岩崎 明義	宮崎 正輝	中村 一幸	原藤 禎幸
		小森 紀子	中村 隆一	安島 亜矢	桑藤 正一	寒原 忠志	本竹 準一	遠藤 賢治	桑藤 正一	安島 亜矢	中村 隆一

平成二十九年 元旦
お願い申し上げます
本年もよろしく